

第1回ベトナム青年技能実習生採用ご説明・意見交換会概要（暫定稿）

（平成30年8月30日午後3時開催）

1. ご挨拶 専務理事 藤岡文七（略）
2. フォーラムのベトナム青年技能実習(監理)事業が目指すところ：専務理事 藤岡文七
 - ・ベトナム青年技能実習事業の背景：①技術・専門人材の育成・確保が本邦企業の投資促進と両国の持続的発展に向けての重要課題であること、②本邦中堅・中小企業のアセアンへの展開や担い手不足と確保の動き、③日本政府の政策(本邦の人材不足対応)と新しい在留資格の検討への動き、④ベトナム政府の大きな関心等。
 - ・技能実習事業の理念とコンセプト：5つの理念（国際協力、海外展開、企業活力、若手育成及び事業承継）と「(日越両国の) 経済・産業・社会を支える管理・技術者及び職人層の日本流育成」
 - ・ベトナム青年技能実習生受入れの考え方：入口（実習前教習）、実習中及び出口（実習後）と一貫しての若手育成対応
 - ・わが国の持続的発展に向けて：①「新しい在留資格制度」の創設の動きと対越投資・企業連携との強い関係性（ダナン・プロジェクト等との関係）、②技能実習制度における職種拡大の必要性、及び③わが国経済社会の若手人材ニーズの強さ等
 - ・優秀なベトナム青年を誤りなく受入れ自国のみでなく日越連携での発展を図る人材育成システムを構築することが必要。
- (3) フォーラムの実習監理事業と同実習生採用募集について：技能実習担当理事 塚田育久（やすひさ）
 - ・フォーラムの技能実習事業について：7月、技能実習新法設立後、「特別な理由がある団体(一般社団法人)」として第1号の監理団体許可を受ける。
 - ・フォーラム事業の特徴：①若者を「ホップ(入口)・ステップ(実習中)・ジャンプ(出口)」と一貫して育成、②受入れ企業様の体制、職種、地域等によって異なるため、実習生育成の視点からの対応を適宜ご提案（送出機関(エスハイ社)との連携対応）等
 - ・意欲と向上心ある優秀な青年の確保と充実した日本語等の事前教育
 - ・丁寧な出口対応と実習生のステップアップに向けた活動支援(ベトナムの本邦関係企業への就職等)
 - ・受入れ企業様の(今後の)円滑な事業展開に向けての支援
 - ・実習生採用募集の具体的内容と採用手続きについて
- (4) エスハイ（実習生送出機関）の対応：エスハイ社長補佐 清水寛子
 - ・エスハイの事業：①ベトナム人材の教育・研修（在校生3200名、卒業生7300名、うち3700名在日）、②ベトナム人技能実習生派遣（1880名（2017年））、③日本国内への高度人材(大卒以上)の紹介（実績500名以上）、④在越日本企業への管理職人材紹介（実績500名以上）

- ・実習生事業：学生募集、教育内容、人材選考、送出し手続き、日本入国後サポート（フォーラム事業においては密接な連携体制(各種相談、事故対応等)の確保)、帰国後サポート(フォーラム事業においては、フォーラムと連携して実習生の就職・キャリアアップ等を支援)
 - ・技術者育成事業：ベトナムの工科系・建築系の大卒の若者に日本企業向けの研修を実施（機械、自動化・メカトロニクス、電気、電子、IT、建築）
 - ・ベトナム人材活用のカギ：文化・生活摩擦解消に向けて
- (5) エスハイ レ・ロンソン社長ご挨拶（略）

以上

（注）上記概要は、事務局としてとりあえずとりまとめたものです。今後、追加・修正がありうることにつきご了承をお願い致します。

専務理事 藤岡文七 （平成 30 年 9 月 3 日）